

	01年度事業費 実績（千円）			02年度事業費 予算（千円）		
事業費の内訳	12 役務費	2		01 報酬	24	
				08 報償費	54	
				11 需用費	6	
				12 役務費	9	
		合 計	2		合 計	93

事務事業名	地域ケア会議事業	事務事業No.	10603000990	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
団塊の世代が75歳以上となる平成37年を見据え、在宅の高齢者や障害者等に対して地域社会全体で取り組む総合的なケアシステムとして茨城型地域ケアシステムを平成17年度より実施してきたが、平成27年の介護保険法の改正により、平成29年度より、地域ケア会議に移行した。令和元年度より国で推奨されている「介護予防のための地域ケア個別会議を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
介護支援専門員より、困難事例の個別会議も実施してほしい、主任介護支援専門員を対象とした「困難事例検討会」を開催してほしいとの意見あり。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
改革 改善 を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢福祉の推進に結び付いている
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である H27年度の介護保険法改正で制度的に位置づけられ、市町村が地域ケア会議を行うよう努めなければならない旨が規定された。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある H29年度より開始した事業であり、今後、個別事例が増加、事例を積み重ねることで地域課題の発見や資源開発につなげることができ、地域包括ケアシステムの構築が推進される。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者の増加に伴いケアマネジメントを必要とする事例も増えているため。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む))
	(他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 地域ケア個別会議は、医療介護専門職などに無償で助言をいただいております削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各事業所から順番に事例を提出していただくことになっており、困難事例についてもいつでも相談対応できる体制をとっているため。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	H29年度より事業を開始。令和元年度から介護予防に重点を置いた個別ケア会議を開始したので検討数が少なく個別ケースの課題分析の積み重ねから地域課題の発見や解決に向けた検討を行うまでには至っていない。																					
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
定期的に個別ケア会議を開催することで事例の積み重ねができ、地域課題の発見に結び付けられる。		(6) 事務事業優先度評価結果																					
		成果優先度評価結果 ②																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>